

お知らせ



## 医療従事者への感謝の気持ちを込めて、 4月30日（木）から、梅田阪急ビルのライトアップを実施

阪急電鉄株式会社（本社：大阪市北区、社長：杉山健博）と阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：諸富隆一）では、新型コロナウイルス感染症患者の治療に尽力する医療従事者への感謝の気持ちを込めて、4月30日（木）から緊急事態宣言終了日までの間、阪急うめだ本店等が入居する大阪駅前の高層ビル「梅田阪急ビル（大阪市北区角田町。高さ約190m）」を、夜間、青色にライトアップします。



このライトアップの起源はイギリスにあり、青色は同国で医療を象徴する色とされています。日本でもその趣旨に賛同する自治体や企業等が、全国の主要施設を青くライトアップしています。

阪急阪神不動産では、グループの阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社とともに、梅田エリアにて様々なエリアマネジメントに取り組んでおり、梅田を訪れる方々に向けた情報発信活動も行っています。本取り組みでは、医療従事者への感謝の気持ちを通じ、新型コロナウイルスの早期の収束を願って実施するものです。

以上